

思いや魅力を発信する

「動画編集ボランティア」



和気あいあいと作業をすすめます

昨今、パソコンやスマホの普及によりYouTubeやInstagramなどにおいて動画で団体や活動の紹介を行うことが増えています。

今回は、動画編集をとおして、それぞれの団体の活動への思いや魅力を発信する「動画編集ボランティア」を紹介します。

● 島本町

動画編集ボランティアグループ

「動画編集プレミア会」

きっかけは養成講座

「動画編集プレミア会」(以下、プレミア会)は令和5年6月に設立されたボランティアグループです。

活動がはじまったきっかけは、社協が令和5年3月に実施した「動画編集ボランティア養成講座」でした。当講座の受講生の中から有志を募り、「プレミア会」が生まれました。

活動は、毎週火曜日の10時から17時まで行っており、午前は報告や連絡事項の確認、勉強会を行います。午後は、メンバー間で協力しながら、編集作業などを行っています。

「プレミア会」では、主に地域の福祉課題の解決のために活動している個人や団体、社会福祉施設などからの依頼を受けています。

これまで80本の動画制作

動画は1本につき、約1カ月間で編集を行います。依頼団体から提供された動画や写真などをもとに編集を行います。が、動画撮影からの依頼を受けることも。

毎週の集まりの際に編集でわからないところをメンバー間で聞きあい、日々空いている時間で作業を進めています。

5〜10分程度の動画1本を作るのに、20〜30時間かかることもあります。

これまでに約80本の動画を制作。主に島本町社協(以下、社協)のYouTubeチャンネルにアップしています。

活動を通して知りあいが増えた

動画編集をしているのは、大学生や主婦、80代までさまざまな年代や立場のボランティアです。

代表の花登庄平さんは「定年後、町には知りあいが少なかったのですが、この活動をとおして大勢増えました」と話します。花登さんは定年後、日々の生活の中で何をしようか悩んでいたところ、社協の実施した養成講座を受講し、プレミア会の立ちあげから携わることになりました。

笑顔や幸せにつながれば

「最初は手探りでしたが、メンバー同士、分からないところは教えあい、助けあっているから、苦勞を感じたことはありません」と花登さん。また、参

加しているメンバーからは「参加できる時に来て、自分ができるところをしてるので、無理せずに自分のペースで進めています」と話します。また撮影や動画編集などの難しい作業もメンバー同士で支えあいながら取り組んでいます。

「できあがった動画が地域の皆さんの役に立ち、笑顔や幸せにつながってほしい」と花登さんは期待を話します。プレミア会は、誰かの役に立ちながら、みんなでスキルアップする会にすることを目標に活動されています。

今では動画編集だけではなく、完全自主制作の動画を制作。社協まつりでYouTube体験を行うなど、新たな活動にも積極的に取り組んでおり、今後のさらなる展開が期待されます。

「できあがった動画が地域の皆さんの役に立ち、笑顔や幸せにつながってほしい」と花登さんは期待を話します。プレミア会は、誰かの役に立ちながら、みんなでスキルアップする会にすることを目標に活動されています。

